

観光資源

～日本遺産～



▼油日神社 (甲賀)



リアル忍者を求めて
甲賀忍術研究会や甲賀流忍者調査団(团长・磯田道史氏)の調査によって忍者の末裔や古文書等の史料が発見され、甲賀武士の山城や、修験道の行場、現存する忍術屋敷の存在とあわせて、リアルな忍者の痕跡が明らかになりつつあります。旅行者に本物の忍者を感じていただける限られた地域がここ甲賀市なのです。

忍者

リアル忍者を求めて

2月は忍者月間

2月の忍者月間に、本市もさまざまなイベントを実施します。



▲飯道山の護摩修行(信楽)

▼多羅尾代官陣屋跡(信楽)



※大阪や東京でも甲賀忍者ブローチ・シヨインイベントを実施します。



忍者の日特別給食

市内の幼・保・小・中で忍者の日特別献立で給食を実施します。

実施日：2月22日(木)

日時：2月18日(日) 18時30分～19時

甲賀忍者の姿を追ったドキュメンタリー番組を放映します。

忍者特別番組の放送(びわ湖放送)

甲賀忍者の姿を追ったドキュメンタリー番組を放映します。

甲賀忍者が聖地を清める

甲賀の忍が聖地「油日神社」で境内を清掃し、心の修練を行います。

日時：2月1日(木)

10時～11時30分

2月22日は忍者の日

豆知識

世界の「Ninja(ニンジャ)」認知度はほぼ100%

平成28年に、本市も参加する日本忍者協議会が世界10カ国で「忍者グローバル調査」を実施したところ98.7%が「Ninja」という言葉を聞いたことがあり、63.1%の人がまだ存在していると回答しました。

信楽焼

きっと恋する六古窯



日本遺産

信楽は、言わずと知れた県内屈指の観光地。中世からやきものづくりが続くこのまちは、丘陵地の残る大小さまざまな窯跡や、工房へ続く細い坂道が迷路のように入り組んでいます。ここで生産される信楽焼は、国内外の一流レストランやホテルなどからも高い評価を受けている世界に誇れるやきものです。



▲登り窯(信楽)

オール甲賀で

観光ビジネス

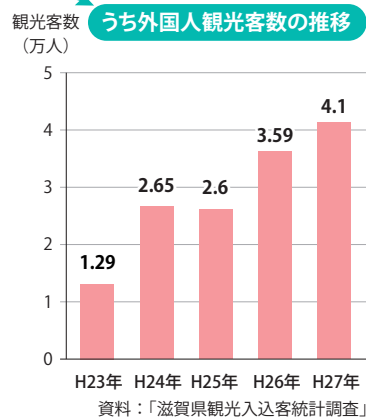
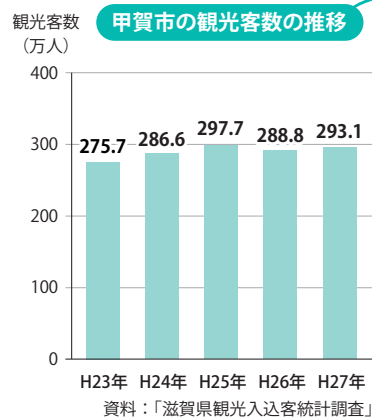
にチャレンジ

外国人旅行者の急増

日本政府観光局が1月に発表した平成29年1月～12月の訪日外国人旅行者数は、約2869万人(平成28年計：約2404万人)となっており、海外からの旅行者(インバウンド)は年々増えています。

滋賀県と本市の状況

県内の観光客数は増加しており、そのうち外国人観光客数は、平成26年は28万人であったものが、平成27年は47万人まで増加しています。本市においては、観光客



数に大きな変化はなく、平成27年の外国人観光客数4万1千人は、県全体の1割に満たない数値です。しかし、年々増加している中、本市においても観光のビジネスチャンスは広がっています。

観光は総合産業

市内に多くの観光客が訪れると、飲食店や土産物店、宿泊、交通機関などの業種が栄えるほか、観光ガイドなどのサービス産業がにぎわってくる考えられます。つまり、観光は一つの産業分野だけに留まらず、地域外からの観光客が使用したお金を市内の他のいろいろな産業につなげていき、高い「経済波及効果」を生むことができる総合産業なのです。人口減少で地方が縮小していく現代において非常に重要な分野といえます。

広がるビジネスチャンス

観光は、多くの産業に波及効果をもたらします。それぞれの分野で仕事が増え、売上が増加すると、雇用が生まれます。税収も増えることで、質の高い行政サービスを市民の皆さんに提供することが可能となります。また、一人ひとりの働き方にも変化をもたらします。今、急速に発展するSNSなど情報通信技術の発展に伴うシェアリングエコノミー(個人が保有する遊休資産の貸し出しを仲介するサービス)等もつながって、空家の活用による賃貸収入や、スキマ時間や技能を生かしたガイド業など個人の手の届くところにビジネスチャンスは広がっています。

日本遺産の活用

昨年、忍者と信楽焼はその背景にあるストーリーの歴史や文化性が評価され、日本遺産に認定されました。この認定を受け、市では、ストーリーを構成する文化財の磨き上げを進めています。忍者に関係する取り組みでは、山林と化していた山城の活用について樹木の伐採や、説明看板等の設置、忍者ツアーを案内できるガイドを育成する予定です。地域の資源が、日本遺産に新たに認定されたことにより、市内に新たな集客地点が生まれ、既存の観光地も周遊ルートに組み込まれていくことでその存在感が増し、これを活用して今までになかったような観光プランが展開できます。関連文化財に関わられている皆さんと官民一体で、新しい観光のあり方を模索していきます。

市では、忍者と信楽焼が日本遺産に認定されたことをきっかけに、今年度を観光飛躍の年とし、観光を重要な位置づけとした施策を進めています。昨年初めて1年間の外国人観光客の訪日数が2800万人を超え、2020年には世界中の注目を集める東京オリンピック・パラリンピックを控えています。国を挙げての観光ムードが高まる中、甲賀市が観光で打って出るその理由について迫ります。